

ひだか 

第137号

平成22年1月31日

# 議会だより



高幡町村議会体育大会

行政報告..... 2 P  
審議したこと・決まったこと..... 3 P～4 P  
議員提出議案・陳情・請願..... 5 P～6 P  
臨時議会..... 6 P～7 P  
委員会活動..... 8 P～9 P  
一般質問に4氏が立つ.....10～13 P  
議会日誌.....14 P

# 行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

## 日高中学校の改築

耐力度の精密調査により、危険改築の基準をクリアできなかったことから、10月2日に教育行政審議会を開催し今後の取り組みの協議をお願いした。

改築に向けてスムーズに事業をすすめることや、より良い施設とするための意見集約の場として、「日高中学校建設推進委員会」を設置することとした。今後の工程は(本年12月に建築基本設計プロポーザル方式)や地質調査の入札を行い、平成22年5月に施設整備計画を国に提出、内示が

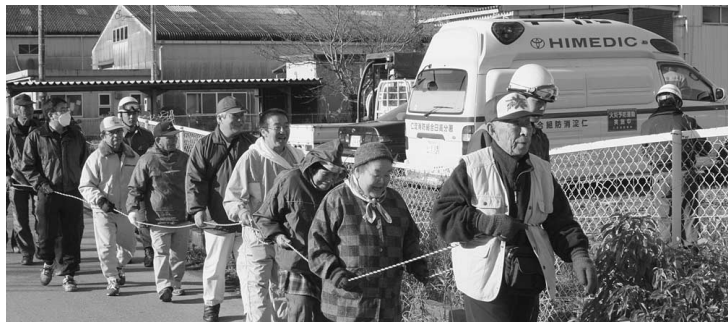
6月にあり、7月に建築確認の提出、8月に工事の入札、24年の7月にすべての工事が完成する予定となっている。

(プロポーザル方式とは、建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定する。)

## 防災訓練の実施

11月15日に防災訓練を250名近い参加者のもと行なった。今年は沖名地区を主体に工業団地の空き地を会場に、沖名地区等の自主防災組織や自治会による非難訓練、消火訓練、救急法講習、非常食作り、消防団、消防署、災害対策本部との情報収集、伝達訓練、救急搬送訓練、高知県の防災ヘリ「りょうま」による救護訓練などが行われた。今後30年以内に50%以上の確率で起こると言われている、南

海地震を想定し自主防災組織率の100%実現、住宅の耐震化、要援護者の支援計画、「いざ」を想定しての部署ごとの訓練等を計画的に実施していく必要がある。



防災訓練

## 国道33号 日下交差点改良

国土交通省から拡幅案が示されたので、12月17日に地権者の方々への説明会を予定している。

平成22年度の国の予算の概算要求はしていたが、今後の事業仕分けの結果を受けた閣僚による査定等によってどうなるのか、不透明な部分が多く予算を許さない状況となっている。

## 村表彰の開催

11月3日に開催、功労表彰に、治安維持での功績に対し広井生幸様を表彰した。

多年にわたり警察官として治安維持への功績により、本年春の叙勲で瑞宝双光章を受賞され、ライオンズクラブでの地域活動やスクールガードとして児童生徒の安全安心に寄与された。

感謝状は、お父様が本村出身で、高知市で眼科病院を開業している、町田照代様に贈呈した。

旧松岡酒造の酒蔵修復にあたり、ふるさとを思う温かいお心から多額の寄付をいただき、心から感謝を申し上げます。

## 第3回 茂平マラソン

11月22日、県内外より1,000名近くの参加者を得て盛大に開催された。今年度は応援の方々や気軽に参加し楽しめるように、ウォーキングの部や、吹奏楽の演奏、車椅子体験、遊びの広場等を行った。

日高村の秋の自然や人情、味を堪能していただけたことと思う。開催にあたり多くの企業の方々による協賛、ボランティアの皆様による運営、沿道での村民の方々への応援によって盛大に開催された。

## 栄えある受賞

少年の主張全国大会で、竜石の加茂中学校2年生山崎慎也君が、高知県代表として参加し見事奨励賞を受賞した。

沖名の三本健介さんが、第41回日展第4科工芸美術部門の陶芸「幻影」で入賞された。

# 審議したこと

平成21年第4回定例会

# 決まったこと

H21.12.7~11

12月議会では条例関係4件、予算関係6件、人事案件1件、その他1件、議員提出議案5件、請願・陳情5件の計22議案が決まった。

## 人事

◎副村長に谷本勲氏を選任することに同意した。



住所 日高村本郷383番地2  
生年月日 昭和25年8月6日  
任期 平成21年12月16日から平成25年12月15日

## 条例

◎非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

非常勤の職員に対する公務上の災害または通勤による災害に対する補償等を規定したもの。

この条例は、平成22年1月1日から施行。  
質疑

問 高知県消防補償等組合となっているが、村内にある分団員も対象

答 なのか。(正岡)  
分団員も入っている。

◎日高村手数料条例の一部を改正する条例

平成22年1月1日から平成23年3月31日の間に限って交付手数料を無料とし、住民基本台帳カードの普及促進を図るもの。  
公布の日から施行する。

◎日高村介護保険条例の一部を改正する条例

「社会保険の保険料等に係る延滞金を軽減するため厚生年金法の一部を改正する法律」が制定されたことにより、日高村の介護保険料においても納付期限から一定期間の日数については、納期限の翌日から1月を3月にのばすもの。  
この条例は、平成22年1月1日から施行する。

◎日高村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

「社会保険の保険料等に係る延滞金を軽減するため厚生年金法の一部を改正する法律」が制定されたことにより、後期高齢者医療

## 予算

(△印は減額)

保険料においても納付期限から一定期間の日数については、納期限の翌日から1月を3月にのばすもの。  
この条例は、平成22年1月1日から施行する。

◎平成21年度日高村一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ8千53万を追加した。  
主な歳入

負担金193万、国庫負担金1千88万、国庫補助金△283万、県負担金793万、県補助金3千91万、総務費補助金1千448万、衛生費補助金476万、土木補助金227万、消費補助金781万、教育費補助金155万、基金繰入金2千212万、雑入920万円。

主な歳出

総務管理費422万、徴税費△167万、社会福祉費1千246万、児童福祉費1千118万、保健衛生費1千121万、農業費560万、道路橋梁費948万、河川費150万、消防費663万、小学校費107万、中学校費103

万、地域教育費1千599万。  
質疑

問 地方交通でデマンドバスの運行回数と試行期間をどう考えているか。(森下)

答 2月から2ヶ月間、エリアを3エリアに分け、毎日運行するよう試行したい。

問 新型インフルエンザの予防接種は、村内の小学校・中学校の子どもがいつごろ終わり、年配者はいつごろ予防接種が受けられるか。(岡本)

答 今現在、妊婦、基礎疾患の方、乳児、やっと小学校の低学年が始まってきたところで、中学生が1月の予定、高齢者の方については2月の予定となっている。

問 予防接種の副作用は、どんな事例がでて

いるか。  
今現在受付をしているのは国産と思うが、いつ頃から外国産が入ってくる見通しか。(尾崎)

答 予防接種のところか腫れたり、アレルギー反応が強く出る方がいる。

問 輸入ワクチンについては、厚生労働省のほうで調査を進めている状況で、来年度になったら高齢者の方は今の段階では輸入ワクチンで対応という計画になっている。

問 保健衛生総務費の災害時の備品購入費は何を買うのか。(西川)

答 保健センターが災害医療の救護所に指定されているので、発電機、バルーン投光機、ベッド、ストレッチャーなど必要最低限確保しておきたい。

問 非常備消防費の全国瞬時警報システム導入委託は、どこの会社に委託するのか、そしてブロードバンドとの関係はどのようになっていくか。(横山)

答 災害の兆候が出た時に、衛星によって察知をし、瞬時に各設備があるところに情報を送るといふことで、今現



災害医療の拠点となる保健センター

在は役場に情報を受け計画をしている情報構想、メール配信する方向で進めていく。

ブロードバンドが平成22年度に工事の予定で、完成の暁には、それにつなぎ瞬時各戸、各世帯へ流せるようする計画である。

問 県の委託事業で鹿の予算を組んでいるが、イノシシ被害、シラサギ、ゴイサギが稲を踏、被害が出ているが報奨金なんか出し駆除できないか。(岡本)

答 猟友会と連絡を取り合いながら対応していきたい。

◎平成21年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ2千602万を追加した。

主な歳入 療養給付費交付金2千585万。

主な歳出 療養諸費1千800万、高額療養費785万。

◎平成21年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ446万を追加した。

主な歳入 基金繰入金446万。

主な歳出 総務管理費217万、施設費228万。

質疑

問 予備のポンプは絶対に据えておくべきと思うが、今までどうなっていたか。(岡本)

答 常に予備は1つ置いており、井戸の中には4本水中ポンプがあり、通常は3本が回転し、フル回転の時には4本が回っており、随

時ローテーションよく組んでいるが、今年の夏に老朽したものが1本壊れ予備に替えたので今回購入して非常時に備えたい。

問 漏水検査で賃金が計上されているが、漏水は大体どれくらいあるのか。(正岡)

答 今回の調査で見えた漏水は、日量604・8トン、年量で21万7千728トン。

問 有効水量が68%という事だが、一般的には何%が水道の健全か。(横山)

答 大体80%ぐらいが適正。

◎平成21年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算(第2号)

歳出予算の組替え。

主な歳出 公債費3千559万、予備費△3千559万。

質疑

問 新築資金の国からの借金はどれくらい残っているのか。(西森)

答 平成22年3月末の残金は、3千848万7千118円となっている。

◎平成21年度日高村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ8万を追加した。

主な歳入 一般会計繰入金6万、基金繰入金2万。

主な歳出 介護サービス等諸費△105万、介護予防サービス等諸費90万、介護予防事業費6万。

質疑

問 介護予防福祉用具購入費、住宅改修費サービス計画費はどのような費用か。(正岡)

答 福祉用具のベット、車椅子、お風呂での椅子など、住宅改修費は一件20万円まで1割を本人が負担することになる。

◎平成21年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ128万を追加した。

主な歳入 一般会計繰入金128万。

主な歳出 後期高齢者医療広域連合納付金128万。

議員提出議案

平成21年度12月議会

核兵器の廃絶と恒久平和を  
求める意見書

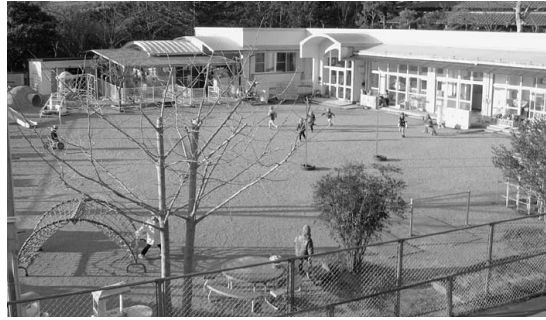
内容

1. 政府は、国是である非核三原則を堅持するとともに、平和市長会議が提唱する2020年までに核兵器の廃絶をめざす「2020ビジョン」を支持し、その実現に向けて取り組むことなど。

3. 核拡散防止条約（NPT）の遵守および加盟促進、包括的核実験禁止条約（CTBT）早期発効、核実験モラトリアムの継続、兵器用核分裂性物質生産禁止条約（カットオフ条約）の交渉開始と早期妥協に全力で取り組むこと。

提出議員Ⅱ 正岡明、岡本、尾崎、野村、横山、森下

全員賛成 可決



保育園

現行保育制度の堅持・拡充を求める意見書

内容

少子化対策は国の将来を左右する最重要課題であり、国及び地方自治体による保育の拡充は、一刻の猶予も許されない課題である。国は、市町村の保育実施義務に依る現行保育制度を活かし、公的責任の基づく保育事業の推進をすること、そのための保育予算を抜本的に増額し、国と自治

体の責任で公立保育所も民間保育所も充実させることを求める。

提出議員Ⅱ 西川龍子、西森森下、野村、壬生

全員賛成 可決

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

内容

1. 改正貸金業法を早期に完全施行すること。

2. 自治体での多重債務相談体制の整備のため、相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。

3. 個人および中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。

4. ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

提出議員Ⅱ 壬生豊秀、西森西川、野村、森下

全員賛成 可決

国会議員の足元の無駄をなくすために、「公職選挙法」や「国会議員の歳費・旅費及び手当等に関する法律」改正を求める意見書

8月30日第45回衆議院総

選挙で当選した国会議員

（実働8月30日～31日の僅か2日間）に、まるまる1ヶ月分の給与が9月16日支給されている。1ヶ月の支給額は230万1千円（1ヶ月の歳費130万1千円＋文書通信滞在費100万円）×480人で11億4千480万円になる。日割り規定を設ければ、230万1千円の31分の2で、14万8千451円×480人で7千125万6千480円で済むわけで、なんと10億3千322万3千520円の無駄になる。

国会議員も、「これだけ無駄を省け」が国民世論となっている今日、国会議員は自分の足元の無駄から率先してなくすことに誠意を示すことが求められている。

速やかに「公職選挙法」や「国会議員の歳費・旅費及び手当等に関する法律」の改正を求める。

提出議員Ⅱ 森下芳文、西森岡本、尾崎、正岡、野村、壬生、西川、横山

全員賛成 可決

所得税法第56条の廃止を求める意見書

中小零細業者を支えてい

る家族従業員の「働き分」（自家労賃）は、税法上、所得税法第56条「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」（条文要旨）により、必要経費として認められていない。

事業主の所得から控除される働き分は、配偶者の場合は86万円、家族の場合は50万円で、家族従業員はこのわずかな控除が所得とみなされるため、社会的にも経済的にも全く自立できない状況となっている。

家業を手伝いたくても手伝えなことが、後継者不足に拍車をかけている。

税法上では青色申告にすれば、給料を経費にすることができ、同じ労働に對して、青色と白色で差をつける制度自体が矛盾している。

税法上も、民法、労働法や社会保障上でも家族従業員の人權保障の基礎を作るためにも、所得税法第56条を廃止すること。

提出議員Ⅱ 野村重夫、西森岡本、尾崎、正岡、壬生、西川、横山、森下

賛成多数 可決

決まったこと

### 陳情・請願

○「核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書」の採択について  
提出者 日本労働組合総連合会 高知県連合会  
会長 岡林俊司  
全員賛成 採択

○現行保育制度の堅持・拡充を求める意見書提出を求める陳情  
提出者 保育の公的保障を求める大運動実行委員会  
代表 田中きよむ  
賛成多数 採択

○「改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書」を政府等に提出することの要請  
提出者 高知県労働者福祉協議会  
会長 岡林俊司  
全員賛成 採択

○改正貸金業法の早期完全施行に関する陳情  
提出者 高知県司法者司会  
会長 田中 勇  
高知県青年司法書士会協議会  
会長 吉本修治  
全員賛成 採択

○改正貸金業法の早期完全施行に関する陳情  
提出者 高知クレジット・サラ金問題対策協議会  
代表 谷協和仁  
クレジット・サラ金被害者の会「高知うろこ(鱗)の会」代表 土井美代子  
全員賛成 採択



議論の場である議場

## 第3回 臨時会

11月25日第3回臨時議会が開催され人事案件1件、条例4件、予算4件を審議した。

◎教育委員会委員に金子真也氏を任命することに同意した。



住所 日高村本郷248番地  
生年月日 昭和30年8月3日  
任期 委嘱日から4年間

### 質疑

問 教育委員は、今、保護者が入らなければならぬが、委員の中で現在選任されるとき、

高校生の保護者でもないのか。(正岡)  
答 金子氏は、子どもが中学校におり保護者の部分をクリアしているし、高校生の保護者でもかまわない。

◎一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
減額改定対象職員は、給料月額に100分の99.82を乗じて得た額とし、1円未満の端数は切り捨てる。

この条例は、公布の日の属する月の翌月の初日から施行する。  
質疑

問 職員の賃金を抑えるということとは、益々購買力を弱める、物を作っても売れないような状況に拍車をかけることにならないか。(森下)

答 他町村の職員との比較、民間業者の従事者等の給与との関係を考えてた時に、公務員の給与だけが、周りの状況と違うことは避けるべきでないか。

◎日高村議会の議員に対する期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例  
 12月支給する場合の100分の160を乗じて得た額を100分の150を乗じて得た額に改める。  
 この条例は、公布の日から施行する。

◎日高村工業再配置促進費補助事業施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例  
 名称・沖名集会所、位置・日高村沖名字苅音44番5を削る。  
 この条例は、公布の日から施行する。

◎日高村沖名集会所の設置及び管理に関する条例  
 日高村沖名集会所の設置に関し必要な事項を定める。  
 この条例は、公布の日から施行する。  
 質疑

問 改築された場所の土地の所有はどこか。  
 (森下)  
 答 馬越自治会と一部村の所有。  
 問 公民館は村有地に建つのが本来の姿でない

か。  
 (正岡)  
 答 沖名地区の災害時の避難場所、地域の各教育団体が使用する公民館そのような施設ということと地域に建設した。

問 地域の土地へ公共施設を設置する場合、契約をし使用権を明確にしてトラブルにならない方策をとるのが、行政の主体ではないか。  
 (西森)

答 自治会にも了解をもらっており、村が設置条例まで作っており、契約については馬越自治会等に検討していただきたい。

問 スポーツを中心とした健康増進につながる場合、関連的に公共性と認められたら使用料は必要ないと解釈されるか。  
 (尾崎)

答 使用目的が公共性でない場合、使用料を徴収する。健康増進とか、村民が使う分には減免で、使用規定の適用外という部分で料金は要らない扱いになる柔軟な対応をしていきたい。

◎平成21年度日高村一般会計補正予算(第5号)  
 歳入歳出それぞれ1千943万円を追加した。  
 主な歳入  
 公立学校施設耐震診断支援事業費補助金△452万、教育文化振興基金繰入金2千386万。

主な歳出  
 議会費△81万、総務管理費1千296万、徴税費△148万、社会福祉費△191万、保健衛生費△37万、農業費△58万、土木管理費△50万、教育総務費64万、中学校費1千350万、地域スポーツ費△26万。

◎平成21年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
 歳入歳出それぞれ32万円を減額した。  
 主な歳入  
 繰入金△32万。  
 主な歳出  
 総務管理費△32万。

◎平成21年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第3号)  
 歳入歳出それぞれ17万円を減額した。  
 主な歳入  
 基金繰入金△17万。  
 主な歳出  
 総務管理費△17万。

◎平成21年度日高村介護保険特別会計補正予算(第2号)  
 歳入歳出それぞれ20万円を減額した。  
 主な歳入  
 一般会計繰入金△20万。  
 主な歳出  
 介護予防事業費△20万。



完成した沖名集会所

# 閉会中の委員会活動報告

## 総務常任委員会



委員長 尾崎政廣

11月5日から6日の県外視察研修で奥出雲町役場に行き全町の各家庭までの光ファイバーによる通信網の整備について視察研修を行った。

奥出雲町は、平成17年度から平成19年度にかけて3カ年で町内全戸に2回線の光ケーブルを引き込み、1回線がケーブルテレビ、もう1回線がインターネット通信に利用されている。引き込んだ光ファイバー網を活用し、操作が簡単で高画質・大画面の多機能テレビ電話を高齢者宅に600台設置し、民生児童委員や福祉医療施設、公共施設に約150台を設置し、地域の見守り体

制をしいている。

その中で、民生児童委員との会話をすることで、安否の確認や相談ごとなどを行なっている。

また、加入状況は、ケーブルテレビ90%、インターネットが30%、利用料は有線電話、有線放送が月2千円、インターネットが月3



研修風景

千8百円で、高齢者負担として65歳以上の独居者と障害者は2千円の内50%負担。

6日は道の駅を3ヶ所視察した。



11月25日委員会を開催。執行部より

畜産団地明け渡し訴訟の裁判が12月2日にある。

裁判官が和解を促しているという経過から、村の和解案をその日に提案してほしいとのことであり、弁護士が日高村としての和解案の作成をした。

委員からは、期日が過ぎても居座るおそれがあり、和解案に強制退去、強制撤去、権利放棄を盛り込む内容の意見があり、今後弁護士との詰めをする。

### 総務課より

土佐電鉄が岩目地までのバスについて、国からの補助が途切れると継続が難しい。

そこで将来にこれに代わるデマンドバスを村で運行する為に、来年2月1日から3月まで村の試運転を行い、4月から本格的な運行という方向で考えている。

### 教育委員会より

11月22日の茂平マラソンに、今年は979名の申し込みがあり、当日は雨が心配された中、ランナーに影響もなく大会運営ができた。

小村神社横の児童公園の

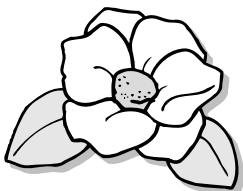
トイレの改修、中学校の建築工事については、建設推進委員会を立ち上げ、第1回目10月15日第2回目11月16日に開会した。その中で今回の建築の設計業者を決めるにあたり、プロポーザル方式によって選定するということを申し入れをした。

### 住民課より

確定申告の受付を手書きからパソコンで行う為、パソコン4台増加する費用10万円。手数料条例の改正について。

### 健康福祉課より

後期高齢者と介護保険など条例の一部改正の2件。以上各課より報告があった。





経済建設厚生常任委員会



委員長 西森 和

11月17日から18日まで、三重県亀山市で亀山市保健福祉子ども総合支援室の取り組み、そして道の駅について視察研修を行った。

11月17日、亀山市の子ども総合支援室での取り組みについて、子ども総合支援センターは総人数13名で、各分野の担当者が集り総合的な支援体制が整っており、総合支援教育を現場主義で行い、母子保健、保育所、幼稚園、小中学校までを一元化し事業をしている。所属は教育委員会とのこと。

毎週木曜日の午前中スタッフミーティングを行い、一週間の出来事を話し合い、学校との連絡を取っている。

保育・幼稚園への施設に

出向いての巡回指導を行なっている。

個人情報については、情報提供、情報収集のために各種同意書、承諾書をもらっている。

虐待については、2ヶ月に1回親を呼んで話している。

集団行動場面での観察を導入することで、発達障害児や親の虐待が判るようになった。



研修風景

11月18日、道の駅関宿は、東海道五十三次の宿場町であった関宿から駅名がついているということで、経営は亀山市が行い、みやげ物に参加する業者47社、農産物販売に28〜30組が参加しているとのこと。売り上げは20年度、農産物880万、加工品80万、お土産、食堂等で4千420万円の計5千380万円、経費としては1年間1千588万円、従業員数は職員1名、臨時職員4名で対応している。

日曜日には生産者が独自に駐車場を朝市を開いて、特産品のお茶や、季節ごとの野菜などを販売している。

今後の課題は、生産者の高齢化による農産物の出荷が少なくなる。

11月25日委員会を開催。建設課より

大橋交差点及び歩道計画、10月27日国道33号促進日高村協議会を行い、土佐国道事務所より、計画案が示され、協議の結果、国土交通省土佐国道事務所の計画案に賛同し、会議を閉じた。今後の予定としては、

12月中頃に地元に対して土佐国道事務所が説明を行い、順次事業を進めていく。産業環境課より

平成21年9月15日、あぐり大会を65名の出席によって開催された。

商工会活性化検討委員会を、3回開いた。今現在の取り組み、日高村の将来像について3班に分かれてワークショップをしている。今年も大型不燃ごみ処理を行った。

10月27日、さんさん市活性化検討委員会を開催した。なお、予算であったさんさん市への集出荷については、3年後以降を見越した継続性のあるものは認めがたいということで今回対象とならなくなった。

健康福祉課より

10月11日地域包括支援センター運営協議会が開催され、20年度の事業実績報告と、21年度事業実施状況について報告された。

引き続き地域密着型サービス運営委員会も開催された。

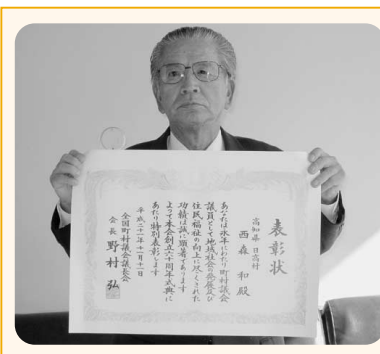
新型インフルエンザ予防接種の補助金の制度について

て、日高村独自の制度として市町村税非課税世帯については全額無料で、それ以外については、1回1千円の個人負担を頂き、残額については村が負担する。

西森 和議員 自治功労表彰を受賞

平成21年11月11日全国町村議会議長会より西森和議員が地域社会の発展及び住民福祉の向上に尽くされた功績に対して特別表彰を受賞されました。

心よりお祝いを申し上げますとともに、益々のご活躍をご期待いたします。



# 一般質問に4氏が立つ

●一般質問

## 村民にわかりやすい

## 予算編成を



野村重夫 議員

### 村の予算査定を公開に

**質問** 政府の事業仕分けは、国民の予算に対する関心をひきつけたという評価を村長はしているが、村の予算査定を公開してやったらどうか。

**答弁** 戸梶村長

村の予算査定については、日程的な問題もある

るが、今後行政評価という形の中で、一つ一つの事業の点検する時期も必要だと思われ、場も必要だと考えている。23年度から始まる新たな振興計画の部分を経ませながら、行政評価システム等も構築していかなければいかんということなので、そういう中でのこの事業仕分けについても、賛否両論があるが、研究しながら公開的な取り組みも、必要だと考えている。

**質問** 中学卒業までの子ども

の医療費の無料化は、6月議会・9月議会の答弁から、予算編成時期になって、実施するかどうかという考えは、揺るぎないか。

**答弁** 戸梶村長

日高村の活性化のために、人口対策をしていくなかで、若い人が日高村に住んでもらう。子どもがたくさん産まれる、「子育てするなら日高村」という思いもある。

12月中に国の22年度予算が決定されると思うので、交付税の動向、子ども手当の動向を見ながら、中学校までの医療費の無料化を、やる方向で検討していきたい。

### 後期高齢者医療制度

**質問** 民主党が野党のとき、四党（民主党、共産党、社民党、国民新党）で後期高齢者医療制度廃止法案を参議院に提出し、可決している。ところが政権に就くと、見直すといっていて、廃止をしない。年齢によって差別をする医療制度は廃止するべきだ。

保険料が2年ごとの改定なので、来年度は保険料がアップされる。日高村はどれくらいになるのか。

**答弁** 片岡健康福祉課長

13.8%の増加というところになる。

いま広域連合で考えているのは、保険料は上げないという方向で検討されている。20年度の医療給付金の剰余金、足りない場合は、都道府県に設置されている財政安定基金を取り崩して、保険料の抑制に充てるという考えを持っている。

**答弁** 片岡健康福祉課長

資格証の交付者はいない。

**質問** お年寄が安心して医療が受けられるように、資格証はやめるべきだ。村長の決意を聞く。

**答弁** 戸梶村長

基本的には、出さないということ運営されており出す予定はない。



クラブ活動中の中学生

● 一般質問

# 道路等社会基盤整備を



正岡 明 議員

**質問** 茂平マラソンコースの道は整備されているが、加茂小中学校の教育の中でマラソン練習のコースの路面はデコボコがひどく危険も伴う農道の整備は出来ないか。

**答弁** 戸梶村長

道の状況は承知していたが、学校教育の中で使っていることは承知していなかった。

**答弁** 杉本建設課長

現在予算化されている生活道の資材提供、小規模の事業があり、申請があれば対応出来る。

**質問** 本年度重点化事業の中で、消防救急の緊急自動車の通行確保の観点から、通行困難又通行出来ても危険の伴う道路。

改良途中で中止となっている宮谷鹿児線は、

両脇に民家もあり狭い石田上回り道路は、

高齢化の進むカーブの多い井峯道路は、

JRと並行し待避所

もない平野岩目地踏切北線。少し道幅を広げれば車の通行可能となる平野八本松から平野上回りの理々浦に通ずる道の整備は出来ないか。

**答弁** 杉本建設課長

宮谷鹿児線は22年度発注出来るよう国に要望している。

石田大向地区は緊急自動車の通行出来ない所があり、今後予算の範囲で計画していきたい。

井峯の上と思うが宮ノ谷岡花線と加茂踏切北線は、全面改良の時期が明確でなく、当分の間待避所設置や部分改良を村道維持費等で対応したい。

平野八本松から理々浦に通ずる道は村道ではなく村単独事業や小規模土地改良事業で対応したい。

## 地域の広場を

**質問** 加茂駐在所の解体の進捗状況と跡地利用は岩目地西、東には公園がなく地域の広場として活用出来ないか。

**答弁** 谷本総務課長

建物解体は今年24日に入札の予定。

**答弁** 戸梶村長

土地利用については、地元の方々と協議しながら、検討もし決めて行きたい。

## ふるさと納税は

**質問** 村外在住の職員の住宅手当、通勤手当をふるさと納税の形で協力願えないか。

**答弁** 戸梶村長

居住移転の自由もあり強制は出来ないが、手当てをふるさと納税でお願いをすることについては、各市町村の問題になるうとしており、内部で検討させて頂きたい。



旧加茂駐在所跡

● 一般質問

子育て支援対策の拡充を



西川 龍子 議員

質問 医療助成制度を中学3年生まで拡充すると対象人数と総額はいくらか。

答弁 片岡健康福祉課長 県下で小学卒業までが5自治体、中学卒業までが12自治体と広がっている。対象者は0歳から15歳まで653名で一般財源は1千288万4千円が見込まれる。

質問 少子高齢化、人口減少が進んでいる。少子化対策の観点から産み育てやすい村作

りが一番の少子化対策と思っており、人口増へとつながり、村の将来にもつながると考えている。来年度からできる方向で検討している様だが、考えは。

答弁 戸梶村長

次世代育成行動計画のアンケートの中に、保育料や児童手当、乳幼児医療等の枠の拡大への要望が多い。一番しんどい所に補助し援助して行く事が政策の基本と思う。

答弁 片岡健康福祉課長

産み育てやすい環境作りが一番で、地域全体で子育てを支援して行く環境整備が必要と考えている。

村として積極的に子育て支援対策を進めたい。

道路行政について

質問 宮谷鹿児線を22年度に実施するとのこと答弁を頂いたが、政権交代により様々な面で変更があるが、現在の状況は。

答弁 杉本建設課長

宮谷鹿児線は22年度に地域活力基盤創造交付金事業で発注できる様に要望しているが、県の方も、はつきりとした答えをよう出さない状況で、去年並みで要望してくれているとの事で現在要望を上げている状況にある。

質問 途中から元の道と

なっており、丁度カーブで狭い道となり、大変危険を伴う道となっている。

早期完成に向けご努力を望むが。

答弁 杉本建設課長

来年度予算の少ない国からの割り当ての中で緊急度順位を上位の方に上げて要求している。

この事業が続くなら、割り当てはあると思っ

質問 大橋、田福周辺の道路等の地盤沈下による相談がある。

田福では地盤沈下に伴う道路の変形により、高齢者が足を取られ転倒して怪我をするといったことが起きている。

再三道路の補修も行って頂いているが、川の方に引っ張られる状況は相変わらずである。

大橋周辺の改良計画もあるが、矢板を使う等の解決策でしっかりした対処を要望するが。

答弁 杉本建設課長

大橋、田福地区は現在、動態観測を県の方で実施している。

平成22年度半ばに、戸梶川調整池が完成する。その時期に観測結果が出るので関係機関に対応を協議したい。

田福の舗装については、早急に調査し対処

ていく。先日中央西土木より中間の観測結果があり、大橋地区、田福地区でも若干であるが、地盤沈下、隆起の変動が観測されている。



改修がまたれる戸梶川

● 一般質問

# 日高中改築は拙速を繰り返すな



森下芳文議員

質問 「子育てをするなら日高村」という日高をつくりたい。それには教育環境は不可欠の条件だ。

北に校舎を寄せて、日照問題はクリヤーできるか。

耐震問題では、より軟弱な地盤の方に寄せることになるのではないか。保護者に科学的に説得力のある説明が出来るか。

答弁 戸梶村長

日照問題は、北に寄せれば変わるので、保護者の方々にも理解いただけると思う。

一刻も早くというものが保護者の願いと思う。

質問 急ぐは分かるけれども、過去にも今の場所に選定したことに、批判を受けている。

拙速のそしりを繰り返し受けたい根拠を示しておかないと無責任になる。

村長は今の選択がベターと考えているか。

答弁 戸梶村長

今の場所から全く別の場所に移すと、用地買収、造成等を含めると非常に大きな金額が必要。それらを勘案して今の場所が最高の場所とは考えないが納得してもらえるとと思う。

国會議員は足元の無駄をなくせ

質問 9月19日付、高知新聞夕刊の記事。

第45回衆議院の選挙が8月末に実施された。

9月16日が給与支給日で230万が支給された。

日割り日給換算したら115万円になると。全議員約11億円という巨額な支出であり、社会常識を逸脱した無駄遣いだ。

事業仕分けで無駄を省こうといいながら、国會議員の足元の無駄が省かれていないがどう思うか。

答弁 戸梶村長

2日間で丸1ヶ月も行うことは、我々から見ると非常に無駄な、改めて戴きたい。

産廃汚泥の処理を適切に

質問 産業廃棄物処理法に基づいて処理をするのが企業のモラル。守られているか。

答弁 戸梶村長

何かの目的のためだけに、後は知らんと、そういうのは企業と

しては、企業責任としてあるべき姿ではない。企業の果たすべき社会的役割がある。指導、監督権限のある県と、実態調査もしながら社会的責任が果たしてもらえるよう取り組む。

崖くずれ対策は

質問 本郷消防屯所裏の崩れの対応は。

答弁 谷本総務課長

今議会で、予算を計上して修復にあたる。



崖くずれ現場

